

【競技上の注意】

1.競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また令和4年度顧問総会資料の申し合わせに従って全て7ゲームマッチで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を止める。
- (3) 大会使用球は、男子「KENKO」、女子「赤エム」とする。
- (4) 進行の都合により、試合前の練習は1分以内とし、どちらかのペアが初戦の場合のみとする。
- (5) ベンチの利用については、選手間の距離を適正に確保する。
- (6) プレー中のハイタッチや握手等は行わない。

2.進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいペアが通路側を使用する。
次の対戦のペアは試合コート付近で待機する。
試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (2) 棄権や選手変更の連絡は本部前に掲示するので、各ペアで確認をする。
- (3) 勝者のペアは試合終了後、速やかにジャッジペーパーを本部へ提出する。

3.審 判

- (1) 審判を行う際は、審判資格ワッペンを左胸に着用する。筆記用具は、各自で準備する。
- (2) 試合の開始・終了時の集合は、両ペアともにネットから1mの距離をとる。(審判も準ずる)
- (3) 各コート第1試合は進行表に記載されたペアが審判を行う。第2試合以降は敗者審判とする。
- (4) 審判はジャッジペーパーの選手名を確認の上、対戦を始める。
- (5) 試合終了後、勝敗及びスコアの確認をし、勝者にジャッジペーパーを渡す。勝者サイン及び握手は省略する。

4.そ の 他

- (1) すべての引率責任者は、会場内では必ずIDカードを着用する。
試合中のアドバイス(ベンチコーチ)は許可しない。引率責任者は、選手の健康に配慮する観点から試合をしているコート付近で観察することが望ましい。
- (2) 応援は禁止とする。また、部旗等の掲揚はいかなる場所も許可しない。
- (3) ドーム内では、原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (4) 大会で使用している場所以外は使用しない。
- (5) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (6) 選手、審判、引率責任者は水分補給・休養等しっかり取って、体調管理に留意する。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。
- (7) 自分の試合が終了した選手は、審判終了後、引率責任者へ体調報告をし、速やかに帰宅する。会場内では健康観察及び事務連絡以外のミーティングは行わない。

《彩の国くまがやドーム会場での注意事項》

- (1) くまがやドームの施設利用について、試合をするペアを除いて1コートから8コートの通路は大会運営上の理由から、通行ができない。
- (2) くまがやドームのコートについて、ネットの下部のパイプはネットの一部と見なす。またネットポストの下の支えとなる足はネットの一部とは見なさないので判定の際に注意する。